

議員提出議案第3号

全ての国の人々の人権が十分尊重されることを求める意見書
上記の議案を提出する。

平成27年10月16日

提出者	杉並区議会議員	井口	かづ子
	同	渡辺	富士雄
	同	大和田	伸
	同	そね	文子
	同	岩田	いくま
	同	増田	裕一
	同	安斉	あきら
	同	川原口	宏之
	同	脇坂	たつや
	同	原田	あきら
	同	けしば	誠一
	同	佐々木	浩

杉並区議会議長 はなし 俊郎 様

全ての国の人々の人権が十分尊重されることを求める意見書

現在、日本を訪れる外国人の数は益々増加傾向にあり、我が国の素晴らしさを世界にアピール出来ることは非常に喜ばしいことである。これら様々な国から集まる外国人は、多様な文化や価値観、ライフスタイルを持ち、これが日本の伝統文化と相まって、自由で豊かな日本社会の活力を更に生み出しているとも言えよう。

しかし、国内では特定の外国人を排斥する趣旨の言動、いわゆるヘイトスピーチが行われる等、外国人の人権が侵害されている事態が見受けられる。一方、国外においては、様々な形での差別的行為が人権侵害として深刻な影を落とし、日本人が被害に遭う等の状況がある。こうした人種差別的な人権問題は国際社会として取り組むべき重大な課題である。

よって、杉並区議会は、人種差別のない世界を希求し、まずは国内において、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を間近に控える今こそ率先して世界に範を示すべきと考え、国会及び政府に対し、全ての国の人々の人権が十分尊重されるべく、幅広い啓発活動を行う等、実効性のある対策を講ずる様、強く要請するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成27年10月16日

杉並区議会議長名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
法務大臣

宛